

地質ニュース

昭和 53 年 4 月

第 284 号

1978

解 説	1978年伊豆大島近海の地震調査速報	小山 出 仁 山 崎 晴 雄 佃 井 榮 吉 正 義 郎 .. 1
	電卓シリーズ(5) 鉱物の結晶図の作図.....	金 沢 康 夫 ..14
	地熱とカコウ岩.....	笹 田 政 克 ..18
トピックス	四万十帯に発見された天然ガス徴地	矢 崎 清 貫 大 場 信 雄 ..25
	阿寺断層を追って(その2) 付知から飛驒川まで	山 田 直 利 ..30
	濃尾平野 ~その自然史と社会史との交流~②.....	桑 原 徹 ..37
海外事情	南極の鉱産資源	西 山 孝 ..46
	ラオカイの燐灰石鉱床	岸 本 文 男 ..52
	ソクラ王子大学便り(1).....	沢 田 秀 穂 ..56
	書庫からの便り② 地震予知・予報の成功例	資 料 室 ..60
	昭和 52 年度地質調査所の出版物	資 料 室 ..62

編 集 地質調査所

表紙の写真

「1978年伊豆大島近海の地震」の際に出現した 右横ずれ地震断層(東伊豆町稲取字入谷付近)

1月14日 12時24分 伊豆半島の東方で発生した地震は同半島に甚大な被害を与えた。この地震では伊豆半島東海岸の賀茂郡東伊豆町稲取付近にほぼ北西・南東方向に延びる2本の主要な地震断層が出現した。このうち南側に現れた地震断層一稲取・大峰山断層の一部を示したのがこの写真である。断層線が大根畑を横切ったため地震前には真直ぐ植えてあった大根のうねに食違いが生じている。この食違いの様子からこの地震断層がここでは約40cmの右横ずれ変位(断層線の向う側の地面が手前の地面に対して右側へずれている)をしていることがわかる。この断層は北西へ大峰山東縁まで連続して現われておりその間のミカン園内では石垣を1m以上も変位させているところが発見された。このような明瞭な地震断層の出現はわが国では1974年の伊豆半島沖地震以来4年ぶりのことである。(詳細は本文参照 Loc. 13)
(文 山崎晴雄 写真 正井義郎)

発 行 株式会社 実業公報社